



## 令和2年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田稔章

組合員並びにJA役職員の皆様

には、輝かしい令和2年の新年を  
迎えられたものと心より、お慶び  
申し上げます。

皆様におかれましては、日々の  
営農と併せ、地域農業の振興や地  
域社会の発展に向け、日頃より多  
大なご尽力をされていることに対  
して、改めて敬意と感謝を申し上  
げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先に道  
内各地において強風に見舞われ、  
広範囲にわたり農業被害が発生し、  
一部躊躇直しが必要になった地区  
も発生しました。

その後は干ばつ等もありました  
が、天候は順調に推移したことで  
収穫も進みました。お米の作況指  
数が104の「やや良」、小麦、て

国際貿易交渉については、昨年

2月1日に日EU・EPAが発効

となり、日米貿易協定は昨年10月  
に署名がなされ、国会審議を経て  
12月4日に承認案が可決されまし  
た。日米貿易協定の影響試算では、

1100億円の生産減少額のうち

3~4割が北海道への影響とみら  
れており、JAグループ北海道と  
して北海道農業への影響を最小限  
に食い止める対策や、生産者の不  
安を払拭することを昨年より国等  
に対しても要請を行っています。

今後も動向を注視し、北海道農業  
が犠牲とならないよう毅然とした  
対応を求めてまいります。

今年はこの庚子年にあやかり、  
農業にとって輝かしい未来が芽生  
く年となること、併せて北海道農

業並びに組合員、役職員の皆様の  
ご健勝とご多幸を心よりご祈念申  
し上げ、新年にあたってのご挨拶

さて、JAグループ北海道は、  
昨年11月12日に第29回JA北海道

大会決議事項の実践事例や現状の  
課題を、JAグループ全体で共有す  
ること、内外に実践状況を発信す  
ること目的として、JA北海道

ころです。

引き続き、組合員・JA・連合会・

中央会が一体となり、大会決議事  
項の実践に取り組み、基本目標の  
達成につなげてまいります。

結びになりますが、今年の干支  
は庚子（かのえね）です。

子には、「ふえる・しげる」の意  
味があり、種子の中に新しい生命  
がきざし始める状態だといわれて  
います。

今年はこの庚子年にあやかり、  
農業にとって輝かしい未来が芽生  
く年となること、併せて北海道農

業並びに組合員、役職員の皆様の  
ご健勝とご多幸を心よりご祈念申  
し上げ、新年にあたってのご挨拶

いたします。

大会実践フォーラムを開催したと